

HOUSE VISION 2016 TOKYO EXHIBITION

HOUSE VISION 2016 TOKYO EXHIBITION とは

展覧会ディレクターにデザイナーの原研哉氏、企画コーディネイトに建築家の土谷貞雄氏、会場構成に建築家の隈研吾氏を迎え、HOUSE VISION実行委員会（事務局：日本デザインセンター原デザイン研究所）が主催する展覧会。15の企業と13人・ユニットの建築家・クリエイターがコラボレーションし、新しい住まいのあり方を提案する。

2013年に第1回の展覧会が行われ、今回は第2回目。東京のお台場に実際に住宅を建てて展示され、木材業界のみならず、「住まい」に関わる多種多様な企業や建築家、行政、研究者が見学される展覧会であり、海外への情報発信力も高い。

メインテント内では、県産材約1,500本（無垢材約750本、化粧貼集成材約750本）をふんだんに使用した隈研吾氏設計のモニュメントを展示。

会場に使われる木材の総量約4500本のうちの、約3割に奈良県産材を使用

詳細

- <日程> 平成28年7月30日(土)～8月28日(日) の約1ヶ月間
- <会場> お台場・青海駅前 特設会場（臨海副都心J区/東京都江東区青海2-1）
- <主催> HOUSE VISION 実行委員会（事務局：日本デザインセンター原デザイン研究所）
- <展覧会ディレクター> 原 研哉氏 <企画コーディネイト> 土谷 貞雄氏 <会場構成> 隈 研吾氏
- <参加企業>
 ヤマトホールディングス、Airbnb、Panasonic、無印良品、三越伊勢丹、大東建託、LIXIL、住友林業、凸版印刷、TOTO・YKK AP、TOYOTA、カルチュア・コンビニエンス・クラブ、AGF、Cassina inc.、蔦屋書店

来場者見込み100,000人 前回(平成25年度)入場者数 約40,000人

<8/10> 隈研吾氏×古谷誠章氏×荒井奈良県知事トークセッション&早稲田大学生の研究発表

- <日程> 平成28年8月10日（水）13:30～
- <内容> 13:30～13:50 奈良県産材の紹介
 13:50～15:20 隈研吾氏（建築家・東京大学教授）× 古谷誠章氏（建築家・早稲田大学教授）× 荒井正吾奈良県知事 トークセッション「次世代に伝えたい木の活かし方」
 15:30～16:20 早稲田大学生による研究発表「吉野スギ・ヒノキを使った新しい木質空間デザイン（仮）」

<その他>
 今回のHOUSEVISIONの会場内には、メインテント内のモニュメントへの県産材の使用だけでなく、カッシーナ・イクスシーさんプロデュースの家具下記のエキシビジョンハウス(左イメージ図)にも、奈良県産材をふんだんに使っています。

- ①吉野杉の家
- ②冷涼珈琲店一煎

なお、吉野杉の家は、HOUSEVISIONの会期が終わった後は吉野町（吉野郡吉野町飯貝地区）に移築され、民泊として活用予定。

会場全体イメージ図

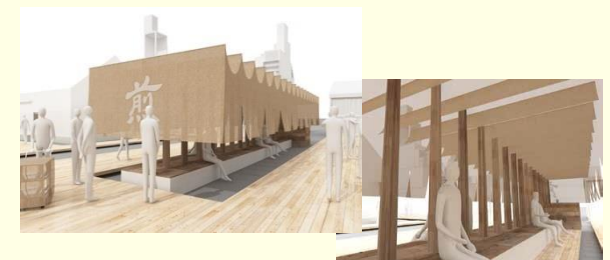


メインテント

- 県産材約1,500本をふんだんに使ったモニュメントを展示
- 隈研吾氏×古谷誠章氏×荒井奈良県知事トークセッション&早稲田大学生研究発表会場



①吉野杉の家：Airbnb+長谷川 豪



②冷涼珈琲店一煎：AGF+長谷川 豪